

パブリックコメント手続の実施結果について

下記の案件について、市民の意見を募集するパブリックコメント手続を行なったところ、次のとおりご意見をいただき、これに対する結果（意見の概要と市の考え方）をまとめましたので、お知らせします。

今後は、この公表結果に基づき計画を実施してまいります。

◆ パブリックコメント手続の実施

対象案件	富良野市健康増進計画（第二次）中間見直しについて
意見募集期間	平成30年3月1日 から 平成30年3月20日 まで
担当部署（問合せ先）	保健福祉部保健医療課 （電話 0167-39-2200）
意見提出件数	意見提出者数 <u> 1 </u> 人 （個人 <u> 1 </u> 人）
	意見提出件数 <u> 6 </u> 件

◆ パブリックコメント手続の結果（市民意見提出手続の結果）

提出のあった意見の概要	市の考え方 （原案を修正したときは修正内容）
①健康増進計画の対象について ・全市民を対象にしていると記載されているが、後期高齢者について触れられていなく高齢者はほとんど65歳以上の括りになっている。高齢者は前期高齢者、後期高齢者と分けられているのに疑問である。	・高齢者については、「高齢者の健康」の中で65歳以上の高齢者全体の現状と課題及び今後の対策について掲載し、特に後期高齢者の健康問題となっている虚弱（フレイル）対策にも取り組んでいく考えです。
②市の健康に関する概況について ・表1では、平成25年度（策定時）となっているが、説明では平成22年度を基準として比較している。なぜ3年間の幅があるのか。	・計画策定時に直近で把握できたのは平成22年度のデータであったことから、説明では平成22年度としております。健康に関する概要のデータについては、出典元により直近で把握できる年度に違いがあることから、表1の「平成25年度（策定時）」は「計画策定時」に「平成28年度」は「中間評価時」に修正します。
③後期高齢者の医療費について ・もっと丁寧に分析できないのか。	・後期高齢者の医療費については、計画策定時とほぼ変わらない状況であり、策定時と同様の分析としました。
④がんの年齢調整死亡率について ・75歳未満の年齢調整率について記載されているが、富良野市程度の人口なら75歳以上の調査も可能と思う。それがきめの細かい行政サービスではないか。	・がんの年齢調整死亡率については、75歳以上の高齢者は様々な疾病を合併しやすく、死因分類の精度が必ずしも高くないことから75歳以上を除いた75歳未満の年齢調整死亡率とすることが望ましいとの方針が国から示されておりますので、75歳未満の年齢調整死亡率を指標としています。

<p>⑤後期高齢者健診の受診向上について</p> <p>・地域懇談会の際に後期高齢者にも個別に健診の案内をすることに前向きな回答を得たと理解していたが、今回の案に全く触れられていない。医療費削減を言うならば受診向上にあらゆる方策を務めるのが良いと思うが。</p>	<p>・本計画には対策の詳細な内容については記載しませんが、医療保険が国保から後期高齢に移行する75歳の対象者や未治療者には、個別案内を行う予定です。</p>
<p>⑥町内会、老人クラブ等との連携について</p> <p>・町内会は未加入世帯が結構あるし、老人クラブは未加入者が多数。この実態は計画策定時から変わっていないと思うが現実にはどのような方策を考えているのか。</p>	<p>・町内会や老人クラブに未加入の状況はありますが、健康づくりの取組みにおいては、地域との連携が重要でありますので、引き続き町内会や老人クラブ等との連携を図るとともに、広報やホームページなどを活用した健康に関する情報発信を行い、市民全体への健康増進の意識向上を図っていく考えです。</p>

<input type="checkbox"/> 広報紙_ 5 _月号への掲載
<input type="checkbox"/> 市のホームページへの掲載（掲載日_5月_1_日）
<input type="checkbox"/> 行政情報コーナー・各支所への供覧・配布（_5_月_1_日）